



「ボランチわ」は日産スタジアムボランティア情報誌です

天然芝と人工芝を組み合わせた最新のハイブリッド芝を採用 ～ラグビーワールドカップ2019™に向けて新しいタイプの芝生に更新～

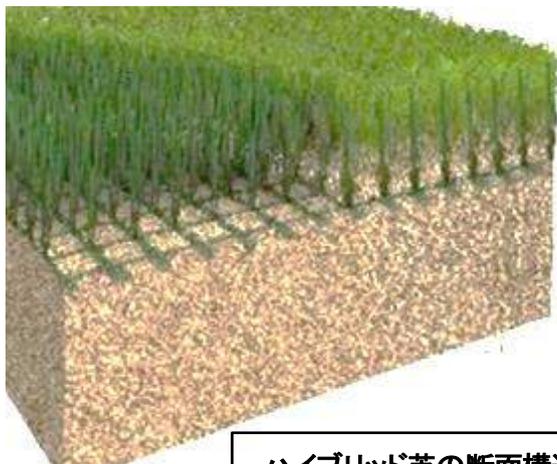
(日産スタジアム グリーンキーパー) 技術管理部 緑管理課 柴田智之

2018年5月30日に行われた『キリンチャレンジカップ2018』の翌日、スタジアムの芝生が初めて全面撤去されました。1998年のオープン以来、グリーンキーパーとしてずっと携わってきた日産スタジアムスタッフにとって、感慨深いものです。

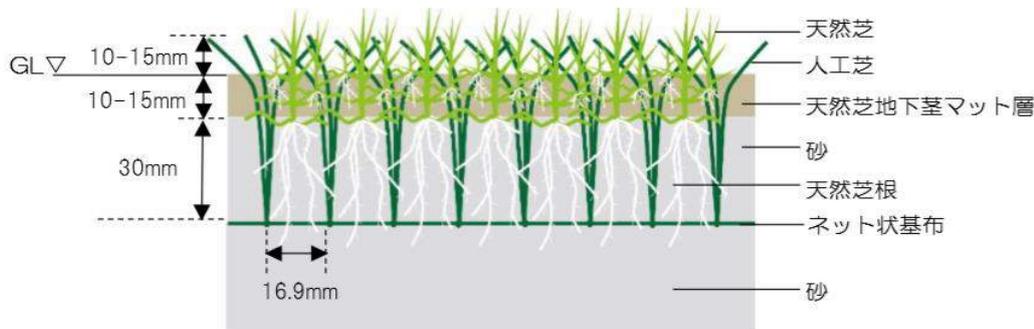
20年間張替えをせずに同じ芝生で管理しているスタジアムは全国でも稀でした。横浜国際総合競技場が開設した当時は、『芝生は10年で消耗し、本来の特質が失われる。10年で張替える。』が通説となっていました。横浜では、我々グリーンキーパーがその通説を打ち破って、ここまで同じ芝生を最高の状態で提供し続けてきました。

今回、20年目にして張替えを敢行した大きな理由は、2019年に控えている『ラグビーワールドカップ2019™』のためです。芝生は今も良好な状態を維持出来ていましたが、こと複数のラグビーの試合に使用する場合に持続的に耐えられるか否かといった問題がありました。まして横浜は『決勝会場』でもあります。全世界に放映される芝生を無様な状態にする訳にはいきませんでした。

そこで今回導入されたのが、従来の天然芝の下に人工芝を入れ込んで補強する『ハイブリッド芝』です。要するに天然芝と人工芝のミックス芝と言ってもイメージしやすいのかも知れませんが、しかし、張替えられた芝生を観て大半の人が「人工芝はどこ」と言います。それもそのはず、表面上で人工芝を見つけることほぼ困難です。



ハイブリッド芝の断面構造



横浜仕様ハイブリッド芝の構造イメージ図

ボランティアの笑顔で、スマイルスタジアム

模式化されたイメージ図をみると人工芝が表面にもしっかり見えていますが、実際には細いナイロン状のストロー（人工芝の繊維）がきっちり縦になってくれるはずもなく、4割の床土の中にもぐってしまっています。では、「効果がないのでは？」。

ご心配なく、元々横浜で採用した「シートタイプ」の人工芝は土中4割したに格子状のネットがあり、そこにストローが縫い込んであります。このネットやストローに天然芝の根が絡みつくことで、ラグビー選手の大きなダメージにも耐えられる強度を出しています。このシートは幅1m長さ10mと大きいので、ダメージが分散されるようになっています。



ハイブリッド芝の断面(写真): 下面から人工芝(緑色)が立ち上がり、天然芝の根が絡みついている

30年間芝生管理を行ってきましたが、紆余曲折色々な困難がありました。決して毎年常に素晴らしい状態が提供できていたとは思っていません。生き物である芝生は天候や利用に大きく左右されてしまうため、毎年同じことを行っているだけでは決して上手くいくことはないのです。更に今回はその中に人工物である人工芝が入っています。これまで行っていた作業の中で人工芝が傷んで強度が低下してしまう恐れがあるため、実施出来なくなる作業もあります。我々にとってまた新たな挑戦が始まります。暖かく、時に厳しく見守って頂ければ幸いです。



人工芝を機械で敷き詰めていきます



人工芝を敷き詰めた後、表面をなだらかにします

(ハイブリッド芝の特徴)

- 強いせん断抵抗力が確保できるので、選手がプレーパフォーマンスを存分に発揮することができます
- 芝生の痛みは速やかに回復するので、ラグビーW杯大会期間中の連続使用でも良好なフィールドコンディションを維持することが可能になります

- ・ 過度に硬くならないので、プレー時の選手の負担を最小限に抑えます
- ・ 傷みにくく回復も早いので、グラウンドの利用促進が期待できます

ファイナルスタジアム スポーツボランティア アカデミー 第1回開講



2002年 FIFA ワールドカップ™ の決勝戦が行われた日産スタジアム。世界の中で決勝戦が行われたスタジアムは極めて限られています。来年はラグビーワールドカップ2019™ 日本大会の決勝戦が日産スタジアムで行われます。同じスタジアムでサッカーとラグビーのワールドカップの決勝戦が行われることは極めて稀なことです。この環境の中で日産スタジアム運営ボランティアの20年に渡る実績や豊富な経験に基づいて、スポーツボランティアの育成・研修機関である「ファイナルスタジアム スポーツボランティア アカデミー」初級Aクラスが開講されました。

スポーツボランティアの経験のない初心者対象の第1回目は応募者多数の中、抽選により決定した55名の受講生が5月10日に3時間の講習を受けました。講習ではスポーツボランティアを行う際の基本となる知識や日産スタジアムの概要の説明を聴いて、最後に実践活動に向けてワークショップのグループディスカッションを行い、活動実習に向けて話し合いました。

ボランティア事務局員6名が講師役としてアカデミーに参加しワークショップの説明や進行を行い、受講生からの質問に答えました。多くの受講生は講習内容をメモ書きして熱心に講義を聴いていました。

講習を終えた受講生は5月12日と19日の2回に分かれてJリーグマリノス戦の活動実習を行いました。西ゲート7F(W21～W25)でのチケットチェックの実習では最初は戸惑いもありましたが、慣れてくるとお客様のチケットを積極的に確認して、生きたボランティア活動を体験することができました。

第2回のアカデミーは7月21日に開講して、さらに第3回のアカデミーを9月24日に予定しています。最後になりますが、アカデミーに携わった行政支援研究所代表取締役 高松与志之様、スタジアム職員やボランティア事務局員の方々、お疲れ様でした。(久保勝美)



講師の行政支援研究所代表取締役 高松与志之氏



ワークショップのグループディスカッションの様子



マリノス戦でチケットチェックの活動実習を行う受講生

2018年度フォローアップ研修会

～「コミュニケーションの基礎知識」と「チケットチェックの再確認」～



サッカー日本代表がロシアで活躍しているサッカーワールドカップが開催されているなか6月24日に開催しました。

研修会には60名以上の方々が参加し、それぞれの思いを抱きながら研修に挑み、和やかに盛り上がりを見せました。

研修テーマは「コミュニケーションの基礎知識」と「チケットチェックの再確認」の2部構成です。前半はコミュニケーションの基礎知識として、コミュニケーションの心構えは、双方向のそれぞれが「安心」「信用」「信頼」の法則にもとづいて成り立っており、ポイントとして「あいさつ」「傾聴」「会話」が基礎であることを学ぶことができました。

後半はチケットチェックの再確認をテーマとして少人数のグループワークを行いました。グループの中でマリノス戦チケットを見本に、チケットの見方や入場ゲートの案内、コンコース動線の確認など実践しながらの研修となり、それぞれ個々に確認する方々、チケットチェックの経験が少ないためベテランの方から手解きを受けながら覚える方々までおりました。

研修を受けた方からは、「普段の活動では聞けなかったこと」や「知らなかったこと」を教えてくださいましたので役に立ちました、ボランティアの方々と仲間作りができました、など声をいただきました。

最後に講師からは、研修会を通じてスタジアムボランティアのみなさん一人ひとりが「スタジアムで楽しく活動ができる仲間作りのきっかけ」となればと期待を寄せておりました。また次回の研修会に向けて研修テーマを探索しているようです。期待しましょう。(ボランティア事務局&研修部会 大家啓伸)



研修会で聴き入るボランティアの皆さん

今年も子供たちが参加して、笑顔で田植えを体験！

～ 新横浜公園で恒例の田植えと花植えを行いました ～



日産スタジアム運営ボランティアのグリーン&クリーンクラブが主催する「親子で楽しく米づくり、植えて覚えよう花の名前」の第1弾として5月27日に「田植え体験」を新横浜公園にある田んぼと花壇で行いました。グリーン&クリーンクラブのメンバーが中心となって、事前に田起こしや代掻きを行って、田植えや花植えの準備を行いました。

この行事には一般公募で申し込みを行い、小学生以下のお子さんのいる10家族(大人26名、子供14名、合計40人)が参加しました。ボランティアから田植えのやり方を教わりながら田んぼに入った子供たちは、慣れない手つきでもち米の苗を、ゆっくりゆっくり植えていきました。今年初めて田んぼに入る子供もたくさんいて、田んぼの泥に足を取られて、動けなくなる子供もいました。手足が泥んこになっても笑顔で田植えを楽しんでいました。



参加者に田植えのやり方を説明するボランティア



田んぼに入って田植えをする子供たち



家族と一緒に花の苗を植える子供たち



シャベルで穴を掘って花の苗を植えました

続いてボランティアから花の苗を渡された子供たちは、スコップで花壇を掘り起こして、花を植えました。最後にたっぷり水をあげました。

子供たちは稲の苗が大きく育って欲しいと願いを木札に書きました。そして自分が田植えをした場所の前に木札を立てました。最後に参加者と運営ボランティアとスタジアム職員が田んぼを横に集まって集合写真を撮影しました。参加者は運営ボランティアが用意した出来立ての美味しいお赤飯をもらって、最後まで楽しんでいました。

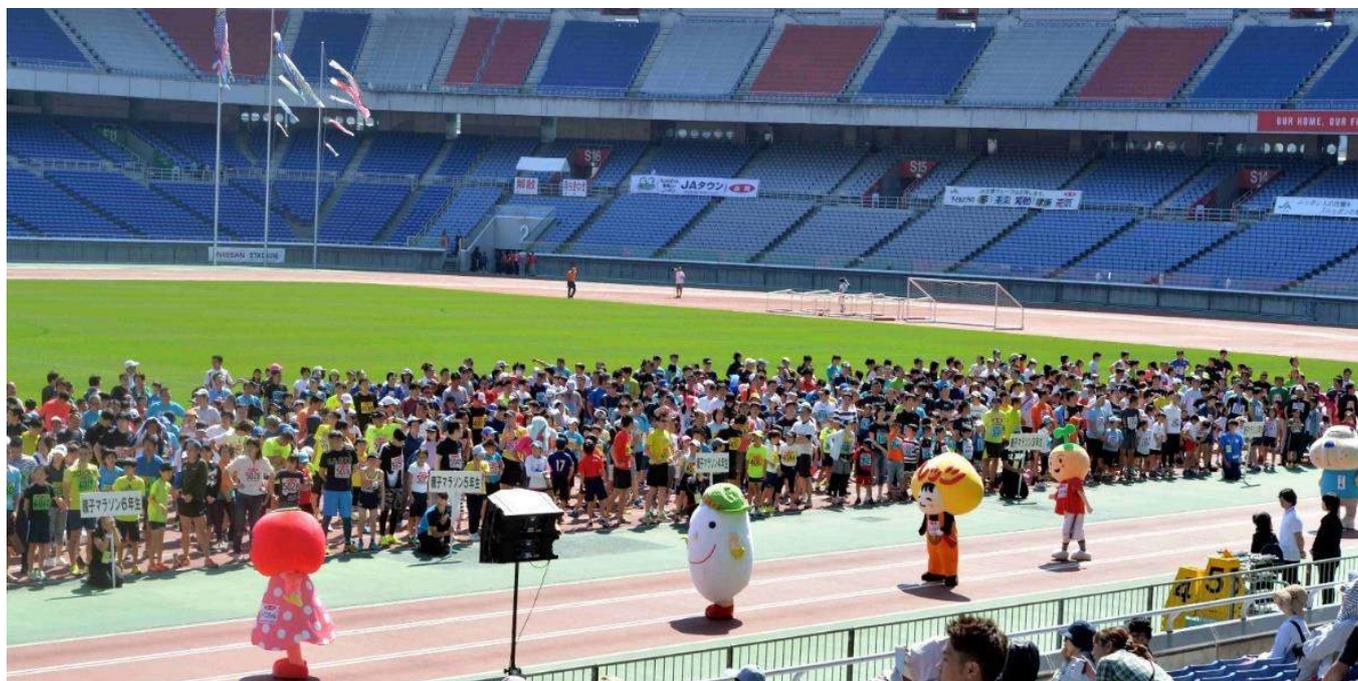
参加者が帰った後に、今回の関係者がボランティアルームに集まりました。昼食を取りながら参加したボランティアから本日の活動に対する感想や今後の活動をより良くするための意見が出されました。今回、初めて参加したボランティアの方がいましたが、とても楽しかったといった感想を述べていました。(久保勝美)



楽しい田植えが終わって、笑顔の家族の皆さんと運営ボランティアで集合写真を撮りました

JA全農チビリンピック2018開催

～スポーツ好きの小学生が全国から日産スタジアムに集まりました～



全農チビリンピック開会式に出席するたくさんの小学生

5月5日(子供の日)、この大会に向けて練習を積み重ねてきたスポーツ大好きな小学生が日産スタジアムに集まって、JA全農チビリンピック2018が開催されました(出場選手は親子を含めて約6000名)。運営ボランティアは配布物の袋詰めを前日に行い、当日は早朝からナンバーカード渡し、成績・記録、賞品準備・配布、記録証配布の班に分かれて大会をサポートしました。開会式では主催(日刊スポーツ新聞社、及び公益財団法人横浜市体育協会)や特別協賛(全国農業協同連合会「JA全農」)の来賓の方々のご挨拶がありました。また日産スタジアム名誉場長の小倉純二様からご挨拶がありました。「出場者の元気な姿を見て、うれしく思います。日産スタジアムは今年で20周年を迎えます。スタジアム完成後の翌年にはチビリンピックをここで開催しています。すなわち日産スタジアムはチビリンピックといっしょに育ってきました。2019年のラグビーワールドカップや2020年の東京オリンピックに向けてスタジアムを改装中です。場内のライトはLEDに交換して3000ルクスと大幅に明るくなりました。トイレも最新式となり空いているところがわかるサイン表示を一部のトイレに設置しています。どうぞこの機会に改装された日産スタジアムを楽しんで下さい。そしてチビリンピックの競技にがんばって下さい。」と小倉名誉場長が選手を励ましていました。



ゲストの高橋尚子さん(中央のピンクのウェア)



親子ランナーに記録証を渡すボランティア

最初の競技は親子マラソンで1年生から6年生の親子1800組が1kmのコースを走りました。ゴールまで接戦を繰り広げる親子マラソンですが、ゴール近くで子供が転んでしまい、すぐに起き上がって親子で手をつないでゴールする姿も見られました。ゲストの高橋尚子さんは親子ランナーと一緒に走ったり、ゴールでハイタッチして選手を激励していました。

午後には JA 全農杯全国小学生選抜サッカー大会の決勝が行われて、関東第2代表のレジスタFCがPK戦を制して、3度目の日本一に輝きました。(久保勝美)

おもてなし接遇研修

～スタジアムにおける高齢者や障がい者への接し方～

3月4日(日)13時30分～14時30分、運営ボランティアとツアーボランティア・スタジアム職員が317会議室に集まり、2018年度ボランティア研修会を開催しました。今回は、公益財団法人日本ケアフィット共育機構からサービス介助士インストラクターの石井しおりさんをお招きして「おもてなし接遇研修」が行なわれました。

サービス介助士とは車いすを使っている人や視覚障がい・聴覚障がいの方々にとどのようにお声がけをしてお手伝いをしたら良いか、また高齢者や障がい者におもてなしの心を持って良好なコミュニケーションを行うために必要な知識を持っている人です。日産スタジアムのお客様の中には高齢者や障がい者の方々がいっぱいます。このような方々にはどのように対応したら良いかを研修で学びました。



講師： サービス介助士インストラクター 石井しおりさん



車いすのお客様とは視線の高さを合わせて話します



白内障ゴーグルを装着して、白内障の症状を体験

今回の研修では、日産スタジアムに来場された高齢者や障がい者の立場になった時に、運営ボランティアとしてどのような対処をしたら良いか、貴重な体験をしました。まず運営ボランティアに白内障ゴーグルが配られて、白内障の症状を疑似体験しました。白内障の症状があるお客様がどのように見えているか知ることが大切です。

次に視覚障がい者を誘導する場合には、ひじを持って下さいと声を掛けます。視覚障がい者がボランティアのひじの上を握ったら誘導します。歩く速度は視覚障がい者に合わせてゆっくり歩きます。

また車いすを使われるお客様の接し方を学びました。研修参加者が車いすに乗り、講師が車いすのお客様に話しかけます。立ったままお声がけすると上から見下ろす様な姿勢になってしまいます。このような場合、対応者は車いすの近くにしゃがんで車いすのお客様と目の高さを合わせて対応します。

今回の研修を通して、高齢者や障がい者に対して配慮すべき点やコミュニケーションを図る際の気を付ける点を学びました。日産スタジアムにおいてボランティア活動時にぜひ実践していきたいと思っています。(久保勝美)

歳時記「新横浜公園 凧揚げの日」

1月8日(月・祝)年初の歳時記行事の新横浜公園凧揚げの日は、真冬の寒さの中、多くの家族が参加して行われました。運営ボランティアがビニール凧作りの手助けを行って、たくさんの親子がビニール凧を組み立てました。広大な新横浜公園には凧揚げを楽しむ子供たちの歓声が上がっていました。午後には日産スタジアム小倉名誉場長がお忙しい中、活動にご参加されました。凧揚げの腕前を披露したり、スタジアム職員や運営ボランティアに気さくに話し掛けていました。(久保 勝美)



親子にビニール凧の組み立てを教える運営ボランティア



凧揚げの腕前を披露される小倉名誉場長

第27回よこはま国際ちびっこ駅伝大会

～ 3000人を超える小学生が元気に走りました ～



1月13日(土)、よい天気にも恵まれて第27回よこはま国際ちびっこ駅伝大会が、日産フィールド小机と新横浜公園を用いて行われました。大会に向けて練習を積んできた小学生が集まり、駅伝の443チーム(1,772人)とロードレース1,405人の合計3,117人が出場しました。日産スタジアム運営ボランティアやスタジアム職員はインフォメーション、場内誘導、コース横断箇所誘導、チップ回収、ゴール着順カード受付、中継誘導・選手誘導、観客席誘導などの担当に分かれて活動しました。韋駄天ぶりを発揮して1位になったり、順位に関係なくマイペースでゴールをする小学生を見て、活動を行いながら思わず声援を送りました。(久保勝美)



日産フィールド小机をスタートして先頭集団を走る駅伝チーム



チップ回収を担当する運営ボランティア



駅伝を走り終わってチームで記念撮影

イベント部会主催「日産スタジアム花見とボランティア交流会」



満開のヨコハマヒザクラ

4月1日(日)、日産スタジアムの花見とボランティア交流会が行われました。日産スタジアム運営ボランティア設立10周年記念として植樹されたヨコハマヒザクラは、成長して立派な枝ぶりとなり、多くの花を咲かせました。その下で満開の桜を見ながら花見を行いました。その後、約30名のボランティアがボランティアルームに集まり交流会が行われました。交流会には公園管理局の倉知局長や山本担当局長も駆けつけて、イベント部会メンバーが用意したさくら餅やおはぎを味わいました。

交流会の後半にはビンゴゲームが行われて、日産スタジアム関連の記念品やマリノス選手のサインボールなどレアアイテムが当たりました。普段の活動中にはゆっくり話をする時間はありませんが、今回の交流会では顔や名前を知らないメンバーと話ができて、知り合える良い機会となりました。

イベント部会の方々、楽しい企画の立案やおいしい食べ物の準備など、ありがとうございました。(久保 勝美)



花見に参加されたボランティアの皆さん

リーダー部会 会議議事録(要約)

日時: 平成30年2月24日(土) 13:00~16:00 場所: 317室

出席者: 井出清四郎・安田十四朗・大家啓伸・大橋靖子・久保正文・菊地喜代勝・鈴木克明・網野 勉・大石忠雄・羽賀眞吾・中村信武・大谷圭吾・倉橋丈夫・久保勝美・上田敏彦 (計15名)

1) リーダー・サブリーダー部会

内容: 本年度からJリーグ「横浜F・マリノス」での運営ボランティア活動内容の変更に伴い全リーダー・サブリーダーに対しての説明会を行いました。

変更点は、昨年までの入場ゲートのサンプリング配布に代わり、場内案内・場内警備等が新たに加われました。場内案内ではお客様から多くの質問がくるので大変な仕事で、負担も大きいです。場内案内では東と西の1階と2階スタンドに新たなボランティアの活動ポストを設置します。各ゲートでのチケットチェックは引き続いて行いますが、マリノス戦の券種が13種類に増えることからチケットチェックを行うゲートも増加します。

今年度の活動が、出来るだけスムーズに行えるように、これらの変更点について「リーダー部会・研修部会」の大家さんから具体的に説明を行っていただきました。

今年度からサブリーダーにもリーダーの役割を担っていただきます。

今回の説明会の内容を充分理解して、今年度の活動に活かすようにしたいと思います。

平成30年ボランティア事務局 会議報告書(要約)

日時: 平成30年4月1日(日)10:00~11:45 場所: ボランティアルーム

出席者: 安田、大家、久保(正)、羽賀、大橋、菊池、上田、久保(勝)、横田、辰本、石崎

1 各部会報告

(1) 運営部会

① 新人研修の開催について、現在、申請者14人、待機者7人。次回は5月20日以降の予定。前回の参加者8人について、辞退者はいない。

(2) リーダー部会

① Jリーグ新活動体制について、Jリーグ活動日集合1時間前にも新活動体制の説明会を実施する。3人体制をしっかりと実施する。配置図を用意する。

(3) 研修・交流部会

① フォローアップ研修の開催、今年前半が終わったあと、6月末あたりで新活動体制や施設等のフォローアップ研修を開催する。

(4) イベント部会企画部会

3月4日会議開催。H30年度部長久保(正)、副部長は増田。イベントを季節ごとに開催予定。

(5) グリーン&クリーンクラブ(環境・美化部会)

① 3月9日大雨による閉鎖状況

現在、野球場・第1運動広場・第2運動広場・球技場・投てき練習場・第3レストハウス・ドッグラン・草地広場・北側園地園路閉鎖中。復旧については4月20日頃の見込み。花壇が心配。

② 市民活動支援事業について (別記)

(6) 情報部会

① ボランティアについて久保(勝)の取材で3月に発行。部会報告がなかった。部会長の言葉を次回掲載。

2 年間活動予定について

(別紙)

3 その他4月8日、21日、28日集合1時間前から30分、今年のJリーグ新活動体制の説明を301で実施する。

グリーン&クリーンクラブ 市民活動支援事業活動報告

- 1 平成30年度市民活動支援事業・・・「親子で楽しく米づくり、植えて覚えよう花の名前」
- 2 グリーン&クリーンクラブによる活動
 - 1) 田んぼの田起こし・草取り(5月4日) 2)花壇整備 (5月13日) 3)田植え準備(5月26日)
- 3 小学生以下の子どもがいる10家族とボランティア(有志)による田植えと花植え体験(5月27日)
- 4 今後の予定 1)かかし作り活動(8月19日) 2)稲刈り体験(10月7日) 3)脱穀 (10月14日)



「活動アンケートの変化、抽選漏れの理由」

全員必読ください

本年7月5日発行で皆さんにお届けした「運営ボランティア活動割当日のご案内」で、これまでと違って少しおかしいな、と思われた方が多くいらっしゃると思います。これまでは、特にJリーグ活動に関しては申し込んだ活動は殆ど抽選に外れることなく活動が受け付けられていました。しかし今回は9月まで4回の J リーグ活動で殆どの方が1回または2回抽選に外れています。Jリーグ以外の活動でも同様のことがあります。この理由について以下ご説明いたします。

本年度ボランティア登録をされている方は230名です。日産スタジアムボランティアとして19年目を迎えた、ID11年度の方がやや減少していますが、逆に29年度、30年度の方は増加しています。30年度本年の新規加入者は7月現在でも既に30名を越えています。今後、19年ラグビーWC、20年オリ・パラを目指しての新規ボランティア希望者は増加傾向にあるでしょう。6月に行われた新人研修会では17名の方が研修を受けられました。

上記のような理由から、今回、ご希望の日程の活動が出来ない「抽選漏れ」が発生しました。今後も「抽選漏れ」が起きると思われれます。冒頭記した7月5日発行のアンケート回答でも、J リーグ1活動あたりで130名から140名の参加希望がありました。ボランティア事務局といたしましても、できるだけ多くの皆さまに均等に活動していただけるように微調整など努力してまいりますが、パソコンによる抽選作業なので、何卒ご理解ご了承をいただきたくお願い申し上げます。特に、今後の活動アンケートの○印記入に当たりましては、確実性のある記入をお願いいたします。「キャンセル待ち」システムにつきましてもより連絡を密にして皆さまのご希望に沿ってまいります。

来年2019年には日産スタジアムボランティア創立20周年を迎えます。思い出しますと1999年度の活動実績は一人当たりで多い方で年間3回でした。なにしろボランティアが500名もいましたから。(ボランティア事務局)

※ INFORMATION ※

平成30年9月～12月の活動予定

月日	イベント名	集合時間	解散時間	要員
9月1日(土)	横浜 FM vs 柏レイソル【第25節】	14:45	20:30	126
9月8日(土)	サイクルパーク マーシャル講習会	10:00	12:00	45
9月9日(日)	ルヴァンカップ準々決勝 横浜 FM vs ガンバ大阪	15:15	21:00	126
9月16日(日)	横浜 FM vs 浦和レッズ【第26節】	12:15	18:00	126
9月22日(土)	サイクルパークフェスティバル 2018	8:00	16:30	45
9月29日(土)	全国統一かけっこチャレンジ 2018	7:00	16:30	65
10月5日(金)	横浜 FM vs 北海道コンサドーレ札幌【第29節】	15:45	21:30	126
10月27日(土)	キャノンブレディスローカップ(ニュージーランド代表オールブラックス vs オーストラリア代表ワビーズ)	未定	未定	未定
11月3日(土)	横浜 FM vs FC 東京【第31節】	10:15	16:00	126
12月1日(土)	横浜 FM vs セレッソ大阪【第34節】	10:15	16:00	126

(集合時間や解散時間など未定となっています。また変更される場合がありますので活動参加者は事前に確認してください)

ラグビーワールドカップ2019™ JAPAN ボランティア情報 スタジアムボランティア申し込み状況

ラグビーワールドカップ2019™のスタジアムボランティアの参加希望者は8月15日現在で121名です。インターネットによる申込みのためにアドレスをお持ちで無く、残念ながら参加出来ない方もおりました。

今後予定される活動は、先ず11月末に実施される「インタビュー(面接)」です。公式サイトで発表される「ボランティアプログラム参加誓約書」をダウンロード、印刷、署名、押印して当日持参してください。希望者は、既に日程希望を提出されたことと思いますが、15日現在で未提出の方が19名もいました。来年の本番までの「研修」などのスケジュールは、すべてインターネットで行われますので、いつもネットに目を配ってください。重要事項は受信したら記録に残しておくことも必要です。それぞれ「申込み締切期限」のある項は、期限に遅れないように気をつけてください。「失格」になってしまうこともあります。

今後の「2019 ボランティア情報」につきましては、情報入次第順次ボランティア事務局から皆さまにお知らせしてまいります。皆さまも可能な限りインターネットで情報を把握してください。前頁記載の10月27日開催試合もまだ未定ですが、昨年同様の活動がある予定です。



記録的な暑さの中で新横浜公園花壇の水撒き作業

連日、記録的な猛暑のニュースが報道されています。この暑さによって新横浜公園の花壇に植わっている花々も萎れ気味です。スタジアム職員からの要請により、主にグリーン&クリーンクラブメンバーの有志が水撒き作業のボランティアに参加しています。日産フィールド小机近くの中央広場の10か所の花壇で毎週月曜日と木曜日に水撒きをしています。お近くに来られましたら、黄色やオレンジの鮮やかな色のマリーゴールドを観て楽しんで下さい。(久保 勝美)



編集後記

6月29日に気象庁が梅雨明け宣言をしました。観測史上、最も早い梅雨明けで長い長い夏が始まりました。日本全国で記録的な猛暑が続き、各地の最高気温の更新のニュースを何度も聞いて、驚かされました。また台風12号の進路は例外的なもので、通常ではありえないルートで日本列島を東から西に進んで、交通機関に大きな影響が出て、またいろいろな被害が生じました。この台風が関東に接近してきたことにより、7月28日に予定されていた横浜FM vs 清水エスパルスの試合は28日の午前中に中止となりました。

さて8月7日は暦の上では立秋です。東京や神奈川で奇しくもこの日の最高気温が25度を下回り、暑さが和らぎました。これまで長く続いた猛暑のことを考えるとすぐに秋が訪れるとは思えません。まずは暑い夏の間は無理せずに体調を管理して、秋に予定されている数多くの活動に備えたいと思っています。(久保 勝美)

本号巻頭に貴重な資料・原稿をご提供いただきました柴田様、お仕事お忙しい中をお時間とお手数いただきまして誠にありがとうございました。お蔭様でボランティア一同、これから活動の中でピッチを見る度にこの文章を思い出して励みになることでしょう。そして、ご来場されるお客様に対しても、胸を張って「ハイブリッド芝の説明」が立派にできると思います。重ねて有難うございました。11頁記載の活動アンケート内容をお読みいただけただけでしょうか。どなたも1・2ヶ月先の予定を申告することはなかなか難しいことと思いますが、出来る限り確実性のある参加申告をしていただきたくお願いいたします。多人数にキャンセルのでた活動日の人員補充は、とても大変な作業です。本号は、創刊以来初の12ページ構成です。担当者久保 勝美さんがJリーグ以外でも全ての活動に参加し、加えて各部活動にも汗を流し、猛暑の畑の水撒きにも頑張られて取材したものです。そのお陰でこのボリュームと見応えある記事を皆さまにご覧いただけます。(安田 十四雄)

発行・編集：日産スタジアム ボランティア事務局 情報部会

〒222-0036 横浜市港北区小机町3300 日産スタジアム TEL: 045-477-5030 FAX: 045-477-5002